

- 1. 推進事業 省略
- 2. 整備事業

I～II 省略

III 食品流通の合理化を目的とする取組用

市町村名	市場名	事業実施主体名	取組の分類	メニュー	成果目標の具体的な内容	成果目標Ⅰ										成果目標の具体的な実績	メニュー	成果目標Ⅱ										成果目標の具体的な実績	事業内容(施設区分、構造、規模等)	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
						事業実施後の状況												事業実施後の状況													交付金	都道府県費	市町村費	その他				
						計画時(平成22年)	1年後(平成28年)	2年後(平成29年)	3年後(平成30年)	4年後(令和元年)	5年後(令和2年)	目標値(平成30年)	達成率	計画時(平成22年)	1年後(平成28年)			2年後(平成29年)	3年後(平成30年)	4年後(令和元年)	5年後(令和2年)	目標値(令和2年)	達成率															
仙台市	仙台中卸売市場食肉市場	仙台市	中央卸売市場施設整備	安全・安心な市場流通	(品質管理の高度化)卸売市場品質管理高度化マニュアルに基づく規範の策定及び実施	未策定	30.60%	83.30%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	124,081頭	108,763頭	104,703頭	109,744頭	107,771頭	112,019頭	141,452頭	-69.4%	取扱数量が推計値を約9.62%下回った。推計値124,081頭 実績値112,019頭 (取扱重量:推計値9,652t 令和2年度実績値8,723t)	(食肉関連施設)・小動物解体棟・連絡通路・大動物内臓処理室・病畜棟・汚物置場【施設規模】7,047㎡【総処理量】11,003t	5,698,824,720	1,680,052,000	0	4,018,772,720	0	H27.9.11	①DHACCPシステムの導入に伴い、当市場を経由する海外輸出先として、従来のタイ、マカオ、ベトナムに加え、『台湾、香港』等を輸出先とする輸出業者からの問い合わせが増加し輸出先拡大の一助となると共に、新規出荷者に対する衛生管理体制や最新機器による畜技術の向上等の集荷促進対策により、出荷頭数増加にも寄与している。 ②未達成の要因は計画策定後の東日本大震災による、青森県・岩手県・秋田県等からの出荷者を含む新規開拓を継続した結果、豚の搬入が約13,000頭増加した。東日本大震災で被災した福島県の出荷者の廃業による出荷頭数減少(約3万頭/年)の影響が大きく、頭数増加にはいたっていない。当市場の近隣に新規農場が令和3年度工事着工、令和4年度からの開設の見込みとなっており、当市場への出荷が計画されているため、頭数増加が見込まれる。	①DHACCPマニュアル策定については計画どおりに策定でき、マニュアルに沿った処理をおこなうことで、輸出先・輸出品の拡大に期待する。 ②未達成の要因は計画策定後の東日本大震災による、年間3万頭を出荷していた福島県の農場が廃業になったことにより、取扱頭数が大幅に減少したことによる。実績ベースでみると増加傾向は見られるので、県としては目標達成のために今後もフォローしていく。			

都道府県平均達成率 50%	総合所見	県全体(1地区)の平均達成率は50%であり、目標未達成であった。品質管理高度化に関しては、計画どおりマニュアルを策定し目標達成できたが、集荷力の向上に関しては目標達成できなかった。未達成の要因は、東日本大震災によって、年間3万頭を出荷していた福島県の農場が廃業になったことにより、取扱頭数が大幅に減少したことによるものであり、実績は増加傾向にある。次年度以降も継続して実施状況を確認し、今後見込まれている新規農場開設に伴う取扱頭数増加による目標達成状況を把握する。
---------------	------	--

- (注) 1 別紙様式1号の2のIIIに準じて作成すること。
 2 別添として、各事業実施主体等が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 3 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 4 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 5 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。